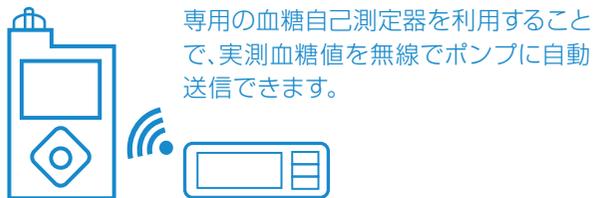


Q&A

Q. 血糖自己測定は必要なくなりますか？

A. いいえ、頻回注射療法やインスリンポンプ療法と同様に必要です。

また、CGMの使用には定期的な較正（実測血糖値の入力）が不可欠なため、この理由からも血糖自己測定は必要です。



Q. お風呂はどうしたらいいですか？

A. CGM機器とセンサは装着したまま入浴できます。
※インスリンポンプは外すことをおすすめします。

Q. 血糖変動に関するアラート機能は必ず設定する必要がありますか？

A. いいえ、必要に応じてオフにしたり、血糖変動が気になる時間帯を指定してオンにすることができます。また、設定の範囲はニーズに応じて広げたり狭めたりすることもできます。



糖尿病の血糖管理は点から線へ。いい明日が見えてくる。

かくれ血糖.jp

検索



www.medtronic-dm.jp

お問い合わせは当院まで

参考文献：

1. Boyne MS, Silver DM, Kaplan J, et al: Timing of changes in interstitial and venous blood glucose measured with a continuous subcutaneous glucose sensor. Diabetes 52: 2790-2794, 2003

Medtronic

日本メドトロニック株式会社
ダイアビータス事業部
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

SAP療法

パーソナルCGM機能搭載 インスリンポンプ療法



低血糖を予測し よりよいコントロールを

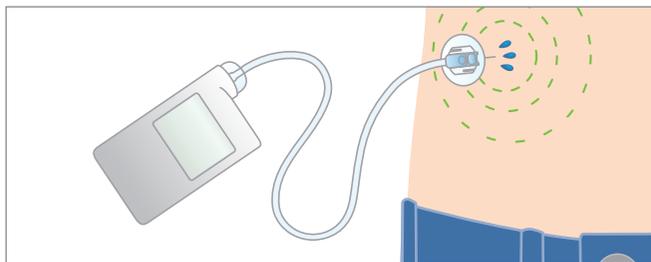
Medtronic

あなたの毎日の安心と健康的な未来のために

SAP (Sensor Augmented Pump) 療法とは、パーソナルCGM機能を搭載したインスリンポンプ療法です。

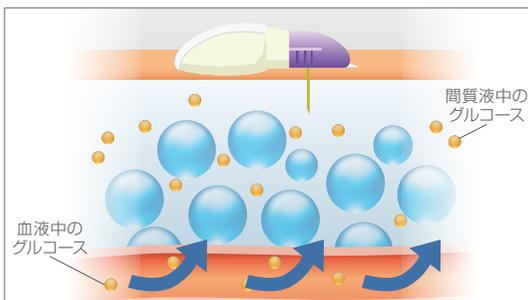
インスリンポンプ療法とは？

携帯型インスリン注入ポンプを用いて、超速効型インスリンを皮下に持続的に注入する療法です。



CGMとは？

CGM (持続グルコース測定) は、腹部などに専用のセンサを装着し、連続的に間質液中のグルコース濃度を測定します。この値は血糖値とよく相関することが確認されている¹ため、実際の血糖変動をシミュレーションするものとして利用されています。

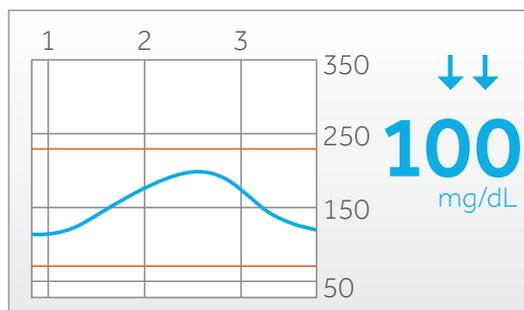


パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプは、CGMで間質液中のグルコース濃度を測定し、その値をセンサグルコース値としてインスリンポンプのモニタ画面に表示します。

健康的な未来のために

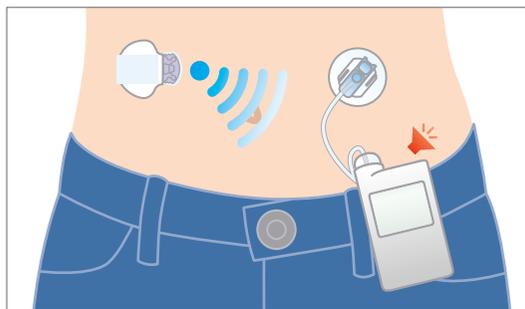
SAP療法の特徴

- CGMで測定されたセンサグルコース値がリアルタイムでインスリンポンプのモニタ画面に表示されるため、あなた自身で**血糖変動を随時確認**することができます。



パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプのモニタ画面イメージ

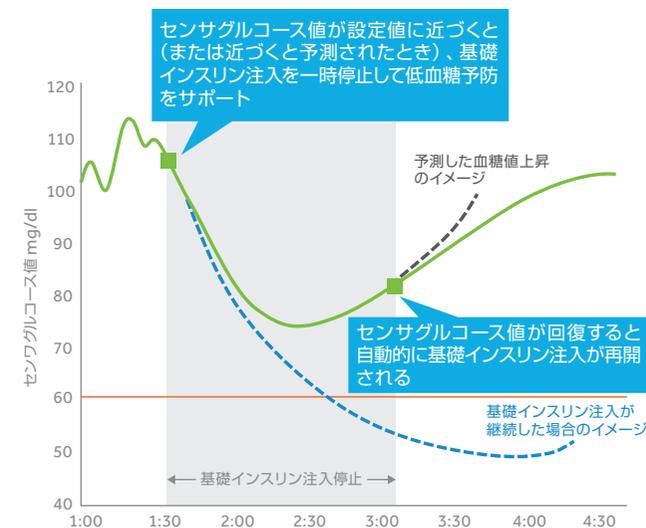
- センサグルコース値が一定の範囲を超えて上昇または低下した場合には、**アラート (音やバイブでお知らせする) 機能**が、あなたの血糖コントロールをサポートします。



パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプの装着イメージ

～SAP療法は、あなたの日々の血糖コントロールをサポートします～

- センサグルコース値があらかじめ設定した下限値に到達、または下限値に近づくと予測されると基礎インスリンを自動で一時停止し、センサグルコース値が回復すると基礎インスリン注入を自動再開。あなたの血糖コントロールをサポートします。



SAP療法の各機能を使用する際は必ず主治医や医療スタッフとよく相談しましょう。



レニー